

平成 28 年度大野南地区地域活性化事業交付金 交付決定事業の概要と評価

申請事業名	相模大野のこどものまち（４年目）
申請団体	相模大野のこどものまち実行委員会
事業目的	子どもや学生が、「都市計画」「まちのデザイン」「住民自治」等の「まちづくり」の要素を主体的に楽しみながら、「社会経験」を自主的に実践することで、子どもの頃から「まち」への積極的な参画を促し、ひいては未来の市民力をアップしていくことを目的とする。
交付決定日	平成 28 年 4 月 26 日
交付決定額 （事業費）	331,000 円（決算 671,313 円）
団体実績報告	<p>事業実績</p> <p>8 月 13 日及び 14 日の 2 日間、相模女子大にて「相模大野のこどものまち」を開催した。</p> <p>参加者数は地域の子ども 326 名、相模女子大学プロジェクト委員 4 名、学生実行委員 49 名、当日学生ボランティア 43 名、専門家 18 名、大人スタッフ 2 名であった。</p> <p>自己評価</p> <p>事業を実施するにあたり、学生が主体的にケーキ屋、大学、市役所、警察署や消防署など、まちの専門家に参加を依頼したり、協賛金集めなどをしたことは、たいへん貴重な経験となったと思う。また、まちの課題を考え、解決していくことを積極的に行うことで、よりよいまちづくりが出来ることを気付かせることが出来たと思う。今後はこの体験を、このまちのまちづくりに活かされることを望む。</p>
市評価	<p>一昨年度から相模女子大学と共催することにより、大学を会場にしながら相模女子大学の学生や OG 等を中心に、1 年限りの活動ではなく学生が主体となって継続的な運営をしていく機運がさらに高まっている。</p> <p>参加した子どもたちが事業終了後に「よかった所」「来年変えたい所」「来年はどんなまちにしたい？」など検証作業も実施しており、同日開催したこどものまち全国サミット 10 周年記念大会も成功した。今後も、さらなる地域や企業との連携強化が期待される。</p>
備考	

申請事業名	子ども食堂 peco (2年目)
申請団体	peco
事業目的	食事作りを通して、気軽に集え、ありのままにいられる居場所をつくることで、課題を抱えた子どもを早期発見し、適切な支援につなげ、貧困の世代間連鎖を防ぐことを目的とする。
交付決定日	平成28年4月26日
交付決定額 (事業費)	466,000円(決算647,200円)
団体実績報告	<p>事業実績</p> <p>今年度は、平成28年4月から平成29年3月末までに延べ20回の子ども食堂を実施したほか、ユニコムプラザさがみはらで開催されたイベントにおいて出張子ども食堂を行った。</p> <p>自己評価</p> <p>4月から新たに学生ボランティアが加入し、調理や子どもとのコミュニケーションでの不安はあったものの、徐々にぎこちなさが薄れ”子どもと共に活動する”という目的は概ね達成されたと感じられる。広報に掲載された直後に参加者が急増する場面もあったが無事、開催日程を終えることができた。当初、懸念事項としてボランティアの人材不足が挙げられていたが、今年度は約20名の学生ボランティアが登録しており、継続的な参加がみられた。来年度は学生ボランティア中心に勧誘等も行う予定であり人材に関しては安定した供給が想定される。また、地域住民の方々からは食材提供や寄付など多大な協力を頂いた。</p> <p>課題としては、4月からは場所をユニコムプラザさがみはらに移し活動を継続する予定であるため、その準備とご協力いただいた地域住民の方々へ十分な報告ができていないため報告の仕方等が挙げられる。</p>
市評価	<p>経済的問題や、ひとり親世帯等で食事の支度がままならず、心と体を育むはずの「食」が揺らいでいる時代において、子どもの健康づくり、ひいては地域との繋がりづくりを目指す公益性の高い事業であると評価できる。</p> <p>健康の格差の解消、親から子への貧困の連鎖を断ち切るためにも、今後の事業の拡大が望まれる。</p>
備考	

申請事業名	防犯・交通安全に関する啓発事業及び支援事業（４年目）
申請団体	特定非営利活動法人 さがみはら市民交番青パト隊
事業目的	「さがみはら安全安心ステーション」を拠点として、各種団体や行政と連携を図りながら、大野南地区を中心に防犯意識向上や交通安全運動について充実を図る。若手ボランティアの参加を募り、次世代の運動の担い手を育成する。
交付決定日	平成２８年４月２６日
交付決定額 （事業費）	225,000円（決算462,835円）
団体実績報告	<p>事業実績</p> <p>防犯・交通安全は市民の安心安全に欠かせない。そのための啓発活動及び行政支援活動を青色灯搭載パトロール車に依り今年度210回行った。頻度は週当たり4日～5日で、1クルー2名あるいは3名が乗務し、録音アナウンスあるいは直接マイクにて防犯や交通安全を呼びかけた。</p> <p>継続してゆくことが大切であるため、若い活動参加者を増やすことも課題であり、更に活動隊員とのコミュニケーションを目的にホームページを立ち上げ活用している。</p> <p>自己評価</p> <p>振り込め詐欺の啓発活動は、大野南地区全域を拡声器で行っている。一時的なものでなく、発足以来4年間継続して行っていることで、相当に周知されたものと自負している。</p> <p>また、児童の登下校見守りもなじみの活動と言えるまでになった。特に、青パトを伴っての登下校見守りは、子供たちにも、運転者にとっても安全配慮の面で効果は大きいと思う。この様子をホームページで紹介することは、全国に発信することであり、防犯ボランティアの参考になればと思っている。</p>
市評価	<p>地域の安全・安心を保持することを目的とした青色防犯パトロールの実施は、市民に犯罪に遭わないように防犯意識を高めていくための効果と、犯罪者に対しての犯罪抑止の効果との双方が期待できる有効な手段であると評価できる。</p> <p>今後とも自主財源の確保による自立した組織の運営が期待される。</p>
備考	

申請事業名	コミュニティサロン よってこ（新規）
申請団体	サークル よってこ
事業目的	生涯学習の拠点である上鶴間公民館でコミュニティサロンを開き、新たな出会い、仲間づくり、生きがい、健康促進を推進し、地域の諸団体と連携をとり、いつでも声を掛け合える思いやりのあるまちづくりに繋げる。
交付決定日	平成28年6月7日
交付決定額 （事業費）	70,000円（決算360,882円）
団体実績報告	<p>事業実績</p> <p>平成28年7月16日から29年3月25日までの約8ヶ月、第5土曜日と公民館事業のためロビー使用不可の場合を除き、毎週土曜日に合計31回開催し、参加者の平均は33名である。折り紙や体操の講習、コーラスやオカリナコンサートなどのイベントも毎回実施している。当初は隔月1回程度の企画をしていたが、単にコミュニケーションをとるだけでなく、健康や楽しみにつながる事を増やしたいと考え、毎回実施する事にした。</p> <p>自己評価</p> <p>自治会の回覧や掲示板に開催の告知をさせていただき、少しずつ地域に浸透してきている。毎週やっているのも楽しみにしているとの声も聞かせていただき、サロンに立ち寄ることが外出の機会をふやし、出かけようという動機づけになっていると思う。これからも参加者が一緒に楽しめるイベントや教室を更に充実させる事、地域への更なる周知が必要と感じているが、最初の一步は着実に進めていると確信している。</p>
市評価	<p>地域活性化事業交付金を原資に創意工夫を重ね、参加者を増やしつつ、しっかりと継続してサロンを開催できており、地域の新たな出会いや仲間づくり、生きがいや健康促進に繋げる場となっている。</p> <p>今後は、開催場所の再検討や、地域の諸団体とのより一層の連携が望まれる。</p>
備考	

申請事業名	大野南地区子育てマップ製作事業（2年目）
申請団体	大野南地区子育てマップ委員会
事業目的	子育てマップの製作・配布を通し、大野南地区在住の子育て世代への情報を発信し、子育ての不安解消に役立てる。
交付決定日	平成28年7月19日
交付決定額 （事業費）	250,000円（決算250,000円）
団体実績報告	<p>事業実績</p> <p>7か月間かけ、情報の実態調査や子育て世代の求める情報を調査した。地図上に配置する時は、情報を取り出しやすいよう修正を重ねた。また、配布場所は必要としてくれている人たちに届くような場所を選んだ。</p> <p>自己評価</p> <p>今回交付時に意見としてあった「宅配サービスの情報掲載」については検討協議した結果、当地区は掲載するには情報が多すぎる・選別すると公平性に欠く（利害関係の発生）ため見送った。</p> <p>また、掲載していたコンビニ情報も同じ理由で今回は削除した。</p> <p>上記のことで地図が見やすく、インターネットでは検索しにくい情報を掲載しているマップが製作できた。</p>
市評価	<p>大野南地区では、以前から、子育て中の親が利用できる施設や機関の位置が一目でわかるようなマップやリーフレットがないという声があり、平成25年度に子育てマップを製作した経緯があったが、在庫が少なくなったこと及び情報が大きく変化していることから、その更新も兼ねている。</p> <p>製作にあたっては、子育て世代の目線を意識しながら、見やすくコンパクトな子育てマップ作りを約半年間かけて行ったものであり、公益性や社会貢献度は極めて高いものと評価できる。</p>
備考	

申請事業名	地域防災イベント「イザ！カエルキャラバン！in相模大野」(新規)
申請団体	大野南地区連合自主防災隊
事業目的	発災時の状況を踏まえ、地域の子どもたちにもいざという時に自ら判断し、行動ができるようにするために、これまでなかなか防災訓練に参加しなかった次世代を担う子どもたちや若いファミリー等を対象に、震災時に必要な知恵や技を身につけてもらう「楽しみながら防災を学ぶ」をテーマにしたイベントを開催する。
交付決定日	平成28年10月4日
交付決定額 (事業費)	700,000円(決算961,532円)
団体実績報告	<p>事業実績</p> <p>平成28年11月23日(水・祝)にポーノ相模大野で開催した。自治会員という枠を外し、大野南地区に住む全ての子ども達や若いファミリーの防災意識の向上を目指した初めての取り組みだった。約800名の親子連れや子ども達の参加があり大盛況だった。今回は消火訓練、救出訓練、防災・減災の知恵や技の習得等、10の防災訓練ブースを設置し、ゲーム感覚で楽しみながら防災知識・技術を学んでいただいた。</p> <p>自己評価</p> <p>大野南地区では高齢化が進み、自治会員が51%前後である上、自治会主催の防災訓練に参加したことがない、防災に興味がない人も多い。そのため地域の防災力向上や防災意識の啓発を目指して、自治会員という枠を外し、小さい子どもが楽しく参加でき、その子どものファミリーにも参加してもらえるような防災イベントを開催した。予想以上の来場者があり、子どもや若い親御さんたちが楽しく防災訓練に参加し、防災啓発の種まきはできたと思われる。</p>
市評価	<p>これまでなかなか防災訓練に参加しなかった次世代を担う子どもたちや若いファミリー層などが多く参加し、「楽しみながら防災を学ぶ」という本事業の趣旨に則り、いざという時に自ら判断し、行動することができる「自助」、「共助」の考えに基づいたプログラムを実施することで必要な知恵や技を身に付けるきっかけになったと評価できる。</p> <p>主催者の想定以上の参加者数であったため、次年度以降はレイアウトやオペレーションの改善が望まれる。</p>
備考	

申請事業名	自治会加入促進「自治会員ステッカー」配布事業（新規）
申請団体	大野南地区自治会連合会
事業目的	<p>すでに自治会に加入している世帯に会員ステッカーをポストや玄関ドア（表）に貼ってもらうことで、自治会加入をアピールし、一方ではステッカーの貼っていない世帯が視覚的に区別できることで、未加入世帯に対して加入促進をPRしやすくする。また、ステッカーに「防災・防犯活動実施中」とアピールすることで、地域の結束を高め、地域の安全・安心などの地域力向上に繋げる。</p>
交付決定日	平成29年2月7日
交付決定額 （事業費）	670,000円（決算670,140円）
団体実績報告	<p>事業実績</p> <p>大野南地区自治会連合会を構成する32自治会に自治会加入世帯数分の自治会員ステッカーを作製・配布し、玄関ドアやポスト等の目立つところに貼ってもらった。</p> <p>なお、別途連合会の予算にて、自治会未加入世帯向けに大野南地区自治会連合会オリジナルの加入促進チラシを併せて製作し、各单位自治会での加入促進に役立ててもらった。</p> <p>自己評価</p> <p>自治会区域内で自治会加入者と未加入者の区別がつきにくく、加入促進のPRがしにくかったところもあるが、本事業で、自治会加入世帯を視覚的に判別することができるようになり、誰もが関心のある安全・安心という切り口から自治会加入をPRできるようになった。</p> <p>今後も、様々な地域イベント等を通して、加入促進を推進していきたい。</p>
市評価	<p>地域課題のなかで大きな問題となっている自治会加入率の低下を少しでも改善するために、まず視覚的に判別することができるようにし、誰もが関心のある安全・安心という切り口で加入促進をPRすることは、自治会に大きな負担をかけずに加入促進を推進することに繋がり評価できる。</p> <p>今後は、ふるさとまつりを始めとした地域イベントでの積極的な加入促進事業の推進が望まれる。</p>
備考	